いわき民報
發行所　いわき民報社
平市田町四八番地　電一七六番
編輯兼發行人　千輝克己
兼印刷人
（但月曜を除く）
定價一月十五円一部五十錢

支局昇格問題内定

喜びの小名濱海運局出張所

効奏事見動運

小名濱海運局出張所の支局昇格問題について、小名濱町では委員をあげて十三日上京、關係各方面に猛運動中であるが、十六日參議院議員橋本萬右衛門氏から本社にあて支局昇格内定の電報があつた、地元小名濱では最初鹽釜支局を通じ運動中、實現の可能性濃厚との報に前記のとおり上京、猛運動となつたものだけに、こゝにいよ〳〵昇格は確定化したものとみられ、地元を始め磐城七濱では大喜びでいる

出炭暫定目標決る

第三・四半期

東北六五六、五〇〇トン
東部二四八、五〇〇トン

東部石炭鑛業會管内下期出炭高は復興會議で百七十六萬七千トンと決定されたが、中央の復興會議がまとまらぬため正式割當決定をみるまで、取りあへず第三四半期の生産は次の目標で進めることになつた七日石炭廳生産局から東部鑛業會に通達があつた、右によると第三、四半期（十、十一、十二月）は東北六十五萬六千五百トン、の合計九十五萬五千トンとあるが、達成は相當の難事とみられている、なお各月別の割當は左のとおり（單位トン）

【十月】▲東北二〇七▲東部七八、五
【十一月】▲東北二一九▲東部八二
【十二月】▲東北二三〇五▲東部八七

郡下教員の再教育講習

郡の教員再教育講習會は十八日から開始するが、會場及び日割は左のとおり

◇澤渡校十八日―二十一日◇平第二校十一月四日―十日◇湯本校十一月八日―十四日◇植田校十三日―十九日

鮮魚配給の統制を監査

鮮魚類の配給統制は昨今漸くくずれ始めたので、安本では今度統制方法の改革を計かく中なので、これが資料となすため十四日仙台經濟安定局から渡邊監査課長が來縣、縣當局、各荷受機關小賣組合消費者代表等と懇談、十五日は小名濱その他の荷受機關や小賣店等の現地監査を實施した

小名濱の連絡會議

小名濱町では十六日午前九時より各部門正副委員長の連絡會議を開催、特別委員選仕第三校建築の二件を附議した、連絡會議は縣や市に於ける地方制度改正前の參事會の如き性質のものにてこれにより町會の大綱を決定する處に長所がある

炭鑛勞務充足計畫

第三四半期

常磐炭田四炭鑛の第三、四半期の職業安定所斡旋にかゝる勞務充足計かくは次のとおりに決定

▲常磐三五〇▲古河好間二五〇▲大日本勿來三〇▲日曹赤井一〇〇

ポスター展

平ポスターマンクラブでは十八、十九の二日間マルトモホールに第二回展を開催うち優秀作品は商工會議所に贈くる

俄然暗礁に乘り上ぐ

湯本町の舊小學校舍移轉問題

湯本町では新制中學の校舍難から、小學校舍の一部を充當して來た結果、今度は小學校側が校舍不足を告げるに至つたのに鑑み、舊小學校舍を移轉、これが緩和をはかることゝした上、この移轉工事費は坪四千円と見積り六十五万円を要するが、財源難の折柄舊校舍敷地約千五百坪を町民の競賣拂下げをなして移轉費に充當の計畫を樹てこの程公聽會を開いて町民にも諒つたところが然反對空氣が濃く遂に折角の名案も暗礁に乘り上げた態となつた、町民の反對理由は校舍そのものゝ移轉にはなく、跡地の賣却に對してゞあり即ち跡地は公民館の建設敷地、兒童遊園地、火災時の避難場所或はスポーツ連盟の競技場等に使用する要があり移轉工事費の捻出は他に何等かの方法があろうといもうの反對町民側は東町委員を中心に對策考究中だが成行を注目されている

海軍關係の遺骨交付式

市並に郡内の海軍の遺骨交付式は、來月十一日と十二月四日の二回に亘つて市内性源寺にいづれも午前九時から行うことに決定された

アメリカ映畫講演會

20日本社ホール

平市唯一の洋畫專門館聚楽館では、地方文化向上の一助にと來る二十日午後六時半から本社ホールにアメリカ映畫講演會を開く、講師はモーション、ピクチュア、エキスポート、アツソシエイション宣傳部講師香田廣文氏で演題は最近のアメリカ映畫に就いて及びアメリカ映畫の見方に就いての二題である

沼尻探勝

湯本スポーツ連が

磐城スポーツ連盟湯本支部では十八日山岳試歩會を催す、午前五時十三分湯本驛發で沼尻に赴き同高原の秋色を探勝し翌十九日夜七時五十一分湯本着列車で歸町の豫定で、歩行々程は六㌔である

けさの獲物白米六俵

相も變らず二〇二ヤミ列車

平署では今曉午前零時三〇分上り二〇二のヤミ列車を急襲齊藤部長指揮の武裝警官十一名をくり込ませ一せい檢擧した結果、二十六件の小豆三斗鮮魚六貫匁、白米六俵を押收したが、うち十一件は無主物で所有者あるものゝなかで惡質ブローカー六名は送局した

食肉値上げ

食肉協組役員會では今度食肉價格を次のとおりに改訂することゝし縣に申請した

◇牛八〇、一〇〇、一二〇◇豚一二〇◇馬五〇◇羊七〇◇山羊五〇兎六〇◇鷄一二〇

新制中學野球大會

縣体協、スポーツ連共催の石城地區新制中學野球大會は來る十七、八の兩日午前九時から平工業並に平商兩球場で開催するが、組合せは左の通り

磐中對双中、四倉對小名濱（平商）平工對浪江、植田對赤井（平工）

パンとケーキ
タイラベーカリー
平市鍛冶町二七番地
電話――21番
平製パン工場

いわき寸言

◉市内の露路や横町はいつから共同便所をかねたのか知ら
◉清掃も何もあらばこそ、これから市内に豚の放養をするか
◉値上げ〳〵で下るものなし人間の足も地につきません

皮膚科
泌尿器科
江尻醫院
平市材木町一二
民衆劇場裏（電一四八）

電灯電力工事請負
メートル工事請負
ラジオ販賣修理
電機器具販賣修理
若松電機商會
福島縣平市新川町二五
回乞御一報

平市仲田町（電六一五）
内科
小兒科
三井醫院
三井五郎

食糧増産の先覺者
澤村勝爲と三森治右衛門
―草野村後場三森氏の資料による―

4　鈴木光四郎

小川江筋と水利組合

小川江筋は延長約七里　その灌漑區域は小、草野、神谷、大浦、四倉、大野、小川の一市一町六ヶ村　水田一千二百余町歩一万石以上の收穫を得る事が出來るようになつた。最近の農業技術の研究と好天に惠まれる時には二万石以上の實收穫が豫想されて居る

明治十三年の區町村會法により灌漑町村聯合の小川江筋水利土功會を設置され　同二十五年水利組合と改稱され　昭和八年農業水利事業として工費二十万三千余円で改修工事に着手し同十三年度を以て完成した。愛谷江組合と共に現今稀有縣道通りに誇る二大水利組合となつて居るのである

澤村神社

石城郡神谷村の金濱氏は先祖代々江筋改ちうの事に當り江筋の改修工事に努力し續けた。

日頃勝爲の人となりと總意を斟酌して明治十三年草野村大字下神谷に澤村神社を建立した。明治二十四年村社となり大正十二年鄉社に昇格した。例祭日は五月一日であり近方の農民の崇敬を集めて居る。

勝爲の墓と碑

勝爲の墓は平市上平窪横山台利安寺に在る、法號は「證院劍譽利道居士」と云う平市北側の高燥なる地に江筋を臨み無言の增産を奬勵して居るかに見へる。又勝爲の功績を顯彰する碑は草野村光明寺境内に明治二年贊歎順が建立した小碑を始め安政二年笠間藩主牧野貞寧（高所後に笠間藩主牧野氏の所領となつた）が建立した『小川渠之碑』及び明治二十六年水利土功會が建立した『澤村君墓碑』また大正十五年小川江筋組合が利安寺境内及び澤村神社境内に建立した『仰澤碑』などがある。

神文

澤村勝爲俗稱、勘兵衛、磐城平城主内藤石京亮忠興の臣なり、慶長十八年生れ郡宰たり本村農、金濱源三郎なるもの あり家世々渠道溉漑等の事を幹す、深く澤村氏を尊崇して神社と爲し渠下の人々をして愛敬をたくする所あり一段九畝歩の地を寄附し建立して請う。明治九年十二月政部省の許可を得たり、今方に社殿を追營して未だ成らず牧野氏寄治の後勝爲の功を嘉し小川渠碑を建てんことを謀り其の文字森田某をして文を撰せしむ

歡順の銅像

小川江筋沿岸民有志は勝爲を敬慕すると共にその動機を與へた歡喜和尚を崇敬し昭和七年その銅像を草野村光明寺境内に建設した、又記念碑を建て勝爲及び歡順の江筋開發の和歌と勝爲の經世を錄した。先年吾々參詣の節は銅像を拜することが出來たのであるが昭和十八年戰爭による金屬回收のためそれを拜む事が出來なくなつたのは誠に殘念な事である。

（參考論文　草野村光明寺では毎月十四日（舊七月盃五月を除く）澤村念佛を行い勝爲の靈を慰めて居る、毎回集る者多いと云ふ

江筋建設の資料

草野村光明寺及び後藤複寫に所藏する「小川江筋由緒記」は原漢文であり光明寺住職歡順和尚が記したものである。

ガタ落ちした酒税
―何といつても入場税は依然增收

平市には二七六本

平市には二七六本の料理飲食店があり、市への割當數は二七六本であり、希望者は直接社會課に申し込むように

明るい旅をと
湯本驛美化

山崎氏の珠しい心

湯本町溫泉旅館組合では山崎氏鮪組合長の發案で、旅行者に明るい、樂しい旅をさせようと今度湯本驛待合室やホームの裝飾くにスマートな花瓶を設置、草花を絶さず活けることとしたが、各方面から非常に感謝されている

戰歿者の追悼法會

高瀨管長も招き

市内綴町源性寺主催では平

佛教同志會後援で來る二十九日午前九時から同所源寺に市内軍人戰沒遺家族の追悼大法會を執行するが特に同法要式にのぞんで横濱鶴見市の曹洞宗高階管長も臨場するが管長臨場は地方最初とある

何といつても
結核が第一位
傳染病の亡者の五倍

市の一月から本月十五日現在までの法定傳染病死亡者調べによると、先づ傳染病では左の通りで、豫防注射の勵行、防疫の徹底等により前年あたりに較べ發生もいちじるしく減じたけに死亡も少く特にヂフテリアが極めて減じ僅か死亡一名にとゞまつたのは特筆大書さるべきである、然し一方肺結核死亡は法定傳染病の全部の死亡數の五倍近くに及び增加の一途で、市内の死亡者の一五%を占めている始末、殊にその年齢は十七八才から三十四、五才までが大部分を占めているのは憂慮すべき傾向とされている（カッコ内は前年同期比較）

腸チブス二（一五）痢しん（二）チブス〇（〇）赤痢〇（四）疫痢三（四）パラチブス一（三）痘そう〇（一）猩紅熱一（一五）ヂフテリア一（一〇）腦脊髓炎二（四）

ミシン
販賣・修理・部品
平二丁目シンガー
イシカワ

何といつても
金屬・貴金屬・その他
衣類・洋服・家具
書畫・時計・高級
買受專門
會商
平市大町通り
鈴木

仕立上機
◎物資不足の折
どんな古い帽子でも
新品同樣になります◎
丸伊帽子クリーニング店
平市鍛町二四　電七〇七

貴金屬・美術品
貴金屬
高價買入
平市鍛町　中央會館

㊗
釜屋商店
平市五丁目

評―盛映
果の嶺銀て

◇東寶作品◇

正直な事をいうと餘りこのスタッフでは期待しなかつたのであるが、それは大なる間違であつた。始めから終りまでその隙間的進力に押されて了つた。東寶も先の『戰爭と平和』にその總作振りを示したが之等も相當に高く評價されて好いと思う。とも角本格的な山岳映畫として特記すべきであろう。

黑澤のシナリオによる谷口も第一回としては稀有の出來榮へである。勿論彼の全面的援助はあつたとしても。若干のカットくの遞續に戸惑い感をじさせるが、その意圖する所は充分に現れている。

俳優は志村がやはり一番である。彼の演技はフリーとなつて初めてその性格的な深味を帶びて來たと思う。前作には傑作といはれる『大曾根家の朝』『ある夜の殿樣』等がありその好調はこの映畫にもはつきり現れている。その他二人の惡人は未だその全面的演技を發揮するにまつて居ない。まだくの研究の余地がある。若山セツ子と、簡單ではあるが、その程度である。若山はそれでもこの映畫には一種の美しさを表していると、簡單に動作にブランが多い。それは止むを得ないが、又黑澤の才全能の最も惜しまれる一點でもある。然しその製作態度は非常に好感がもてる。これは山岳に對する智識の豐富にも役をもつ事と思う。案外その方面に無關心な我々は取つてその益する所甚だ大である。

撮影は雪に關する專門家である瀨川順一の手になり、なかくの餅かである。（熊谷記）